

資料提供	
令和5年3月22日	
担当	美術館整備局(石原)
電話	0858-47-3011

鳥取県立美術館のロゴ・シンボルマークを決定しました

令和7年春開館予定の鳥取県立美術館の象徴となるロゴ・シンボルマークを決定し、3月21日に開催した開館2年前カウントダウンイベント「OPENNESS(オープンネス)!未来をつくるデザインフォーラム」において下記のとおり発表しました。

記

1 決定したロゴ・シンボルマーク

(1) シンボルマークのデザインコンセプト

鳥取(TOTTORI)の複数あるTを県民一人ひとりに見立て、そのTの集積によって美術館のシルエットを構成、県民が主体となる美術館を目指したデザインとなっています。TとTの隙間は、建設後の活用こそが重要である事を、隙間を埋めていく＝皆で大切に作り上げていこう、というメッセージになっており、参加しやすい「開かれた場」である事も表わしています。

【基本デザイン】



(2) 製作者

原 寿夫(はら としお)さん (兵庫県出身・在住 56歳 会社員)

2 ロゴ・シンボルマーク審査結果発表&授賞式の様子

(1)日時 3月21日(火・祝) 午前11時から午前11時40分まで

(2)場所 鳥取県立倉吉未来中心 2階「セミナールーム3」



↑発表する梅田美術館整備局長(左)と足羽教育長



↑ロゴ・シンボルマーク製作者の原さん

3 その他

(1)詳細は、別添資料をご参照ください。

(2)問合せ先 鳥取県立美術館パートナーズ 広報担当

電子メール: info@tottori-moa.jp 電話: 0858-27-0771

(不在があるのでできるだけメールでのご連絡をお願いします。)